

Japan Society of Ski Sciences

# 日本スキー学会 第26回大会 講演論文集

メインテーマ  
スキーの sustainability (持続可能性)  
—次世代へつなぐスノースポーツ—



主 催: 日本スキー学会  
期 日: 2016年3月13日(日)～16日(水)  
会 場: たかみや瑠璃倶楽リゾート・蔵王温泉スキー場

# 日本スキー学会 第26回大会

メインテーマ

スキーの sustainability (持続可能性)

— 次世代へつなぐスノースポーツ —



主催: 日本スキー学会

期日: 2016年3月13日(日)～16日(水)

会場: たかみや瑠璃倶楽リゾート・蔵王温泉スキー場

# 目 次

会長挨拶 .....	1
日本スキー学会第 26 回大会 日程 .....	2
日本スキー学会第 26 回大会 組織図 .....	3
日本スキー学会第 26 回大会 ご案内 .....	4
発表者の方へのご案内 .....	6
基調講演 .....	7
シンポジウム .....	9
ワークショップ .....	11
研究発表プログラム .....	13
講演論文集.....	15
日本スキー学会学会誌投稿規定 .....	

## ご挨拶



日本スキー学会会長  
土岐 仁

日本スキー学会第26回大会は、「スキーの sustainability サステナビリティ（持続可能性）一次世代へつなぐスノースポーツ」をメインテーマに、山形県蔵王温泉スキー場及びたかみや瑠璃倶楽リゾートを会場として開催される運びとなりました。本大会の企画、会場設営等に尽力された大会実行委員長の国見保夫先生（玉川大学）をはじめ、委員の皆様にご心より御礼申し上げます。

今冬は全国的に今までに無いほどの暖冬となり、筆者の住む秋田市も2月の厳寒期にもかかわらず雨が多く、市内に雪はありません。このような雪不足はスキー場の運営はもちろん、各種イベント、大会の中止等の影響ももたらし、関係各位は大変頭を痛めていることでしょう。このような暖冬傾向に加え、スノースポーツ人口が最盛期より半減しているという厳しい状況の中、その持続可能性について考えてみるのが今回のメインテーマです。従来のように若者だけをターゲットにスキー場に人を集めるのではなく、雪に関連した産業、観光なども含めた新しいビジネスモデルの構築や、生涯スポーツとして人生を豊にしてくれるスノースポーツとしての訴求が必要なのかもしれません。

第1日目は大会行事として定着しましたプレセミナーが、医学系のテーマの下開催されます。第2日目は元全日本スキー連盟ナショナルデモンストレーターの伊東秀人氏による基調講演の後「スノースポーツの持続可能性」をテーマにシンポジウムが行われます。ここでは伊東氏に加え、庄司克史氏（三浦雄一郎の弟子、プロスキーヤー）、岡崎彌平治氏（蔵王温泉高見屋、十六代目当主）をシンポジストにお迎えし、持続可能性について多角的な御提言がいただけるものと期待されます。第3日目は、会員諸氏の研究発表に続き、午後からは本学会の特徴ある行事のワークショップが4コース用意されております。上記シンポジストに加え元オリンピック選手の木村公宣氏によるコースと合わせ、充実したスキー技術コースが開催されます。また、広大な蔵王スキー場巡りも用意されており、大変充実したワークショップとなっております。第4日目は研究発表に加え、本大会における優秀発表賞の表彰も行われます。

蔵王スキー場の雄大な自然環境の中、充実した大会となりますことを祈念すると共に、大会にて皆様とお目にかかれることを楽しみにしております。

# 日本スキー学会 第26回大会日程

## 第1日 3月13日(日)

- 16:30～ 受付
- 17:00～19:00 プレセミナー 「日本登山医学会が運用する認定山岳医制度」  
演者 : 大橋教良 氏 (日本登山医学会 認定山岳医認定委員  
帝京平成大学教授 地域医療学部医療スポーツ学科学科長)
- 司会 : 上杉 雅文 氏 (つくばメディカルセンター)

会場: 1F プラネット

## 第2日 3月14日(月)

- 11:00～12:00 理事会 会場: 2F ヒルサイドテラス
- 12:15～ 受付
- 13:00～13:15 開会式 会場: 1F プラネット
- 13:15～14:45 基調講演 一般公開
- 15:00～17:00 シンポジウム「スノースポーツの継続可能性 一次世代へつなぐス  
ノースポーツ」 一般公開
- 17:15～17:45 評議委員会 会場: 2F ヒルサイドテラス
- 18:00～20:30 懇親会 会場: おーごっつお
- 21:00～22:00 フレンドシップサロン 会場: 2F ヒルサイドテラス

## 第3日 3月15日(火)

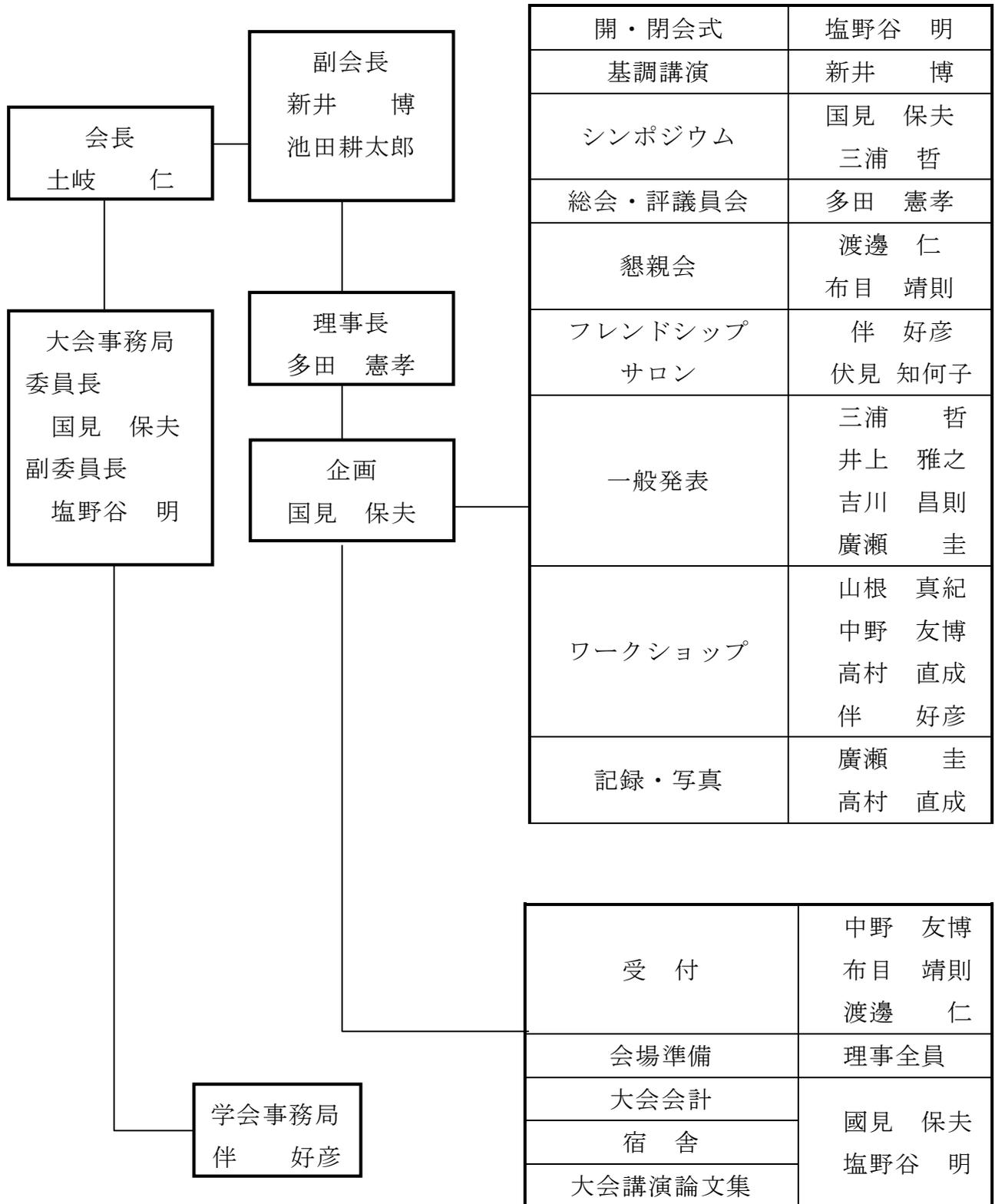
- 8:30～10:45 研究発表Ⅰ 会場: 1F プラネット
- 13:30～16:00 ワークショップ 会場: 蔵王温泉スキー場
- 17:00～17:45 総会 会場: 1F プラネット
- 18:00～ 夕食(各自)
- 20:00～21:30 フレンドシップサロン 会員のみ 会場: 2F ヒルサイドテラス

## 第4日 3月16日(水)

- 9:00～12:00 研究発表Ⅱ \*演台数によって時間変更あり 会場: 1F プラネット
- 12:00～12:15 閉会式
- 12:45～13:45 理事会 会場: 2F ヒルサイドテラス



## 日本スキー学会 第26回大会 組織図



## 日本スキー学会 第26回大会のご案内

1. 主催：日本スキー学会
2. 日程：平成28年3月13日（日）～16日（水）
3. 会場：蔵王温泉 瑠璃倶楽リゾート（学会貸し切り） <http://www.zao.co.jp/rurikura/>
4. メインテーマ： 『スキーの sustainability（持続可能性）  
—次世代へつなぐスノースポーツ—』
5. 大会参加費：①正会員 5,000 円 ②賛助会員 5,000 円 ③非会員（一般） 7,000 円  
④学生会員 2,500 円 ⑤SIA 会員 5,000 円  
※基調講演、シンポジウムは、一般公開（無料）  
（ワークショップ参加者は別途リフト券代 4,000 円が必要になります）

6. 宿泊（大会を円滑に運営するため、原則として宿泊は学会指定ホテルをご利用ください）

○宿泊先：瑠璃倶楽リゾート <http://www.zao.co.jp/rurikura/>

○宿泊費：

宿泊タイプ		宿泊費（税、入湯税込み） ※は3/12（土）のみ
1泊朝食付き	3人以上相部屋	¥6,630
	2人部屋	¥7,710
	1人部屋	¥10,950
1泊2食付き	3人以上相部屋	¥8,790（※¥13,110）
	2人部屋	¥9,870（※¥14,190）
	1人部屋	¥13,110（※¥17,430）

○懇親会費：3,000 円（たかみや瑠璃倶楽リゾート 2食付き宿泊者の料金。  
その他は 8,000 円。）

○昼食費：1,200 円（15日分のみ受け付けます。レストラン等の利用も可能です。）

7. 参加申し込み

別紙「参加申込書」に必要事項をご記入の上、メールまたは FAX にて大会事務局に申し込みください。なお、参加申込書（PDF 形式、Excel 形式）は、学会ホームページ

ジからダウンロードできます。なお、メールによるお申し込みの場合は、ダウンロードした申込書を添付してください。大会参加費は、参加申し込み締切日までに指定口座にお振込み下さい。

振込指定口座 【銀行名】 東京都民銀行 【支店名】 玉川学園支店  
【口座種類】 普通 【口座番号】 5026155  
【口座名】 日本スキー学会 第26回大会 事務局 担当 国見 保夫

※振込手数料は、ご負担ください。

※SIA 会員で単位認定講習会として参加する方は、SIA 会員用参加申込書をご使用ください。

## 8. アクセス <http://www.zao.co.jp/rurikura/access/>

- 車
  - ・東北自動車道白石 IC より蔵王エコーラインで約 2 時間
  - ・東北自動車道村田 IC より山形自動車道經由山田蔵王 IC より約 20 分
- 電車 山形駅から路線バスを利用し約 50 分で「蔵王温泉バスターミナル」到着
  - ・バスターミナルからホテル (023-694-2520)に連絡で、車の迎えあり
- 飛行機
  - ・山形空港より車で約 50 分「蔵王ロープウェイ山麓駅」下車
  - ・仙台空港からバスを利用して約 1 時間で「蔵王温泉バスターミナル」到着：バスターミナルからホテル (023-694-2520)に連絡で、車の迎えあり

## 9. 大会事務局

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

玉川大学教育学部国見研究室 国見保夫（実行委員長）

TEL : 042-739-8488 (直) / FAX : 同左 / E-mail : conference26th@js3.jp

## 10. その他

スキー用具、スノーボード用具をレンタルする方は、各自でお願いいたします。

リフト券は引換券を各自でチケット売り場またはホテルフロントにお持ちください。



# 発表者の方へのご案内

## 1.発表時間

発表は全て口頭といたします。発表時間は一演題 10 分、質疑応答 5 分とします。なお、予鈴は以下のようです。

- 1 鈴…… 8 分 発表終了 2 分前
- 2 鈴……10 分、発表終了、質疑応答はじまり
- 3 鈴……15 分、質疑応答終了、発表終わり

## 2.使用機器

パソコンによる発表の方は、発表当日(朝 8 時から)またはそれ以前に、事前の試写等発表受付と準備を行ってください。事務局は、パソコン、プロジェクターを準備していますが、パソコンは各自の物をご使用ください。

パソコン以外の機器(VTR、OHP など)をご利用になる場合には、事前に事務局に連絡ください。

## 3.補足資料

発表の際に資料を配布される場合は、80 部を用意してください。また、各発表セッション前までに、発表受付に提出してください。

## 4.座長の依頼

座長は 1 セッションごとに交代します。「研究発表 演題・プログラム」にありますように、既に事務局で座長を指名させていただきます。ご協力よろしく申し上げます。

## 5.スキー研究への投稿

スキー研究第 13 巻第 1 号への投稿にあたっては、後頁にある「日本スキー学会 大会及び研究会 講演論文集原稿 執筆要領」を遵守のうえご提出ください。「原稿提出のチェック表」をコピーして原稿と一緒に提出してください。これらが守られていない場合は、受理されないことがあります。